

事業実施状況報告書

団体名	特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会
事業名称	ろう手話講師育成事業
事業実施期間	令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 2月 21日
1. 実施内容 (実績)	<p>(1) 実施した事業内容 〔ろう講師育成講座〕 手話講習会や手話教室のろう者講師や将来講師を目指しているろう者の手話言語知識の確立やスキルアップを行った。開催日は、令和4年5月8日から令和5年2月12日間、毎月第二日曜日の全10回。サプリ村野の教室にて開催。講師として関西大学の手話講師と国立民俗学博物館の講師を招き、日本手話の言語成立条件、日本手話のしくみ、日本手話の文法、講座の進め方、CL表現やロールシフト表現、指導方法の講座を行った。全10回の内8回受講された受講生に修了証を授与した。 講座内容を録画しDVDを作成し、講座内容の復習や欠席した受講生に対し代替え授業とした。</p> <p>〔テキスト・修了証作成〕 令和4年12月4日、12月29日、令和5年1月15日、1月17日、1月19日、1月22日、1月29日に手話指導テキストの作成、修了証を作成した。 手話指導テキストは、これまでのテキストは聞こえる講師向けであった為、ろう者にとって使いにくいものでした。ろう者の意見を取り入れ今までにない「ろう講師のための手話指導テキスト」を作成した。</p>
	<p>(2) 対象者・参加者 (例：枚方市内に住む小・中学生32名 など具体的に) 受講者：枚方市在住のろう者12名 講師：大阪府内に住むろう者2名 設営準備：枚方市、寝屋川市在住のろう者と聴者3名 当日設営受付：枚方市、寝屋川市在住のろう者と聴者8名 テキスト・修了証作成：枚方市、寝屋川市在住のろう者と聴者10名</p>
	<p>(3) 実施体制 (事業を実施した人員体制や支援者や他団体との連携状況を記入すること) 理事役員と正会員 外部ろう講師2名・・・大学講師等</p>

様式第 14 号 / 枚方市 N P O 活動応援基金

	<p>(4) スケジュール (事業開始から終了までのスケジュールを記入すること) [講座] 第1回: 令和4年 5月 8日 (日) 12時30分~14時30分 第2回: 令和4年 6月 12日 (日) 12時30分~14時30分 第3回: 令和4年 7月 10日 (日) 12時30分~14時30分 第4回: 令和4年 8月 21日 (日) 12時30分~14時30分 第5回: 令和4年 9月 11日 (日) 12時30分~14時30分 第6回: 令和4年 10月 9日 (日) 12時30分~14時30分 第7回: 令和4年 11月 13日 (日) 12時30分~14時30分 第8回: 令和4年 12月 11日 (日) 12時30分~14時30分 第9回: 令和5年 1月 8日 (日) 12時30分~14時30分 第10回: 令和5年 2月 12日 (日) 12時30分~14時30分 [テキスト・修了証作成] 令和4年 12月 4日、12月 29日、令和5年 1月 15日、1月 17日、1月 19日、1月 22日、 1月 29日</p>
<p>2. 広報周知の方法 (実 績)</p>	<p>(事業周知の方法を記入すること) 当協会の Facebook、ブログ、機関誌に掲載 相談支援センターに案内用紙配布</p>
<p>3. 事業実施 による効果</p>	<p>(1) 事業実施により得られたと考えられる効果 手話を言語と認識し、手話教室や講座で指導するスキルアップができた。 技術を持った手話指導者から学び、実際にロールモデルを見て学んだことは非常に価値があった。これを機に、受講生が次の世代の人のロールモデルとなって行くであろう。 これまでのテキストは、ろう者には使い難く指導に行き詰まることがあった為、ろう者の意見をきき、ろう者が使いやすいテキストを作成した。 テキストには指導の虎の巻を載せた。このことにより、指導内容の幅が広くなり充実した指導が期待できる。</p> <p>(2) 効果の確認方法 現在行っている、手話教室や講座で指導方法を確認出来る。 また、講師会議や研修で話し合うことでお互いの技術が確認出来る。</p>
<p>4. そ の 他</p>	

事業収支決算書

団体名	特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会
補助対象事業の名称	ろう手話講師育成事業
事業実施期間	令和4年 4月 1日～ 令和5年 2月 21日

【収入の部】

(単位：円)

項目 ※1	予算額	決算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	130,000	130,000	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体希望寄附) (B)	0	0	補助金額 (団体希望寄附)
自己資金	14	14	
受講料	156,000	156,000	1回あたり1,300円×10回×12人 (受講者数)
合計 (C)	286,014	286,014	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	会場費	3,500	3,500	会場費350円×10回
	講師謝金 (ろう者)	150,000	150,000	日額15,000円×10回×1人
	交通費	45,000	45,000	日額3,000円×10回×1人、日額1,000円×10回×1人、日額1,000円×5回×1人
	アルバイト人件費	35,000	35,000	当日受付会場設営 日額3,000円×10回×1人、日額1,000円×5回×1人
	アルバイト人件費	10,000	10,000	設営準備 (事前連絡等) 日額1,000円×10回×1人
	文書作成人件費	2,000	2,000	講座テキスト・修了証書の作成に係る人件費1,000円×2人
	消耗品費	14,514	14,514	テキスト・修了証書の作成に係るインク・用紙等の購入費用
小計 (E)	260,014	260,014		
補助対象外経費	文書作成人件費	26,000	26,000	講座テキスト・修了証書の作成に係る人件費1,000円×26人
小計	26,000	26,000		
合計 (D)	286,014	286,014		

- ・【項目】【予算額】は事業収支予算書と相違の無いようにして下さい。
- ・収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入してください。
- ・枚方市補助金枚方市補助金(一般) (A)は、補助対象経費の1/2かつ上限は30万円以内とします。
- ・枚方市補助金(一般) (A)と枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を合わせて申請する場合は、補助対象経費から枚方市補助金(団体希望寄附) (B)を除いた額に対する枚方市補助金(一般) (A)。